

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

真田地域自治センター

【平成26年度重点目標】

重点目標	真田地域の資源を活用した誘客体制づくりの推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<ul style="list-style-type: none"> ゆきむら夢工房拠点化整備 ・大型駐車場等整備 真田氏歴史館企画展 ・「大阪冬の陣」をテーマに特別展示 観光ルート整備 ・真田の郷観光案内板等の整備 地域力を結集させた真田まつりの実施 真田地域内の観光資源活用の促進 ・ふるさと公園の有効活用、トイレ等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 2月末までにゆきむら夢工房等外構完了 7月～9月 期間中入館者8,000人 3月末までに2ルート・20箇所整備完了 参加者8,000人 3月末まで 	<ul style="list-style-type: none"> 大型駐車場の整備を11月に発注し、2月完成の予定 ・ゆきむら夢工房の施設改修工事費を9月補正で予算化 7月19日～9月1日まで企画展を開催し、入館者数9,906人（前年比31%増） 関係自治会、団体等とルートを検討し、1ルートが決定 8月2日「第30回真田まつり」の参加者数約9,000人（前年比20%増） トイレ等の検討については、御屋敷公園、真田氏本城跡の実施設計委託費を9月補正で予算化 ・9月28日ふるさと公園を活用し、秋のきのこ刈りイベントを実施。参加者数60人
重点目標	地域公共交通の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<ul style="list-style-type: none"> 真田地域協議会、真田地域自治会連絡会議への説明のほか、チラシや有線放送によるPRの積極的推進 バス利用促進イベントの開催 (1)新規企画として、定期券回数券特別幹旋企画を実施 (2)真田地域公共交通利用促進協議会主催により各種イベントを開催 真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年を目標に乗降者数対H24年度比1.5倍 (1)9月 3月 (2)通年 7月上旬総会開催 役員会は随時 	<ul style="list-style-type: none"> 6月に路線バスの利用促進チラシ作成、真田地域内に全戸配布 7月に36自治会の「地域づくり委員会」で運賃低減バスの利用促進チラシを配布し、路線バス利用を呼びかけ 6月から7月にかけて行われた各高校の真田支部PTA総会において、運賃低減バスの利用促進チラシを配布 9月に真田地域内路線バス時刻表を作成し、真田地域内に全戸配布 7月7日から1ヶ月間、保育園、幼稚園の年長園児の絵画97点を展示する「七夕バス」を運行 併せて各園において、年長園児によるバス乗車体験を実施 7月24日から8月20日まで、小学生以下の「キッズバス」に併せて、小学生対象の「スタンプラリー」（6箇所）を実施（対象586人内プレゼント交換17人） 8月2日の真田まつりに併せて路線バス乗車体験を行い、運賃低減バスの利用促進チラシを配布、約500人が見学 9月15日から10月14日まで、「回数券/定期券特別販売企画」を実施し、期間中に回数券または定期券購入者に粗品をプレゼント 7月2日総会を開催し、平成25年度事業報告及び決算報告、平成26年度事業計画及び予算を承認 併せて運賃低減バスの利用状況を会員に報告
重点目標	菅平高原スポーツリゾート地の整備促進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<ul style="list-style-type: none"> 菅平高原観光トイレの改修整備 ・内外装改修整備、ウォシュレット化の実施 菅平高原スポーツ観光拠点施設整備検討 ラグビーワールドカップ2019キャンプ地及びその前後の冬季オリンピック、東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿地誘致の推進 菅平高原の自然環境保全に向けた植生の調査・研究 ・関係機関(真田教育事務所・筑波大・環境省等)、関係者及び関係団体による連絡会の設立 	<ul style="list-style-type: none"> 12月上旬までに3箇所(唐沢の滝・菅池・大松山)公衆トイレ整備を完了 施設内容等の具体化を検討 通年 3月末までに学習会を3回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 9月25日唐沢の滝、菅池観光トイレの実施設計業務を完了 シティープロモーション推進室と連携を図りながら実施計画に整備計画を計上 市内7高校、地元中学校に高校ラグビー大会のチラシ配布（506部）。コベルコカップが10回を迎え優勝チームに市長メダル授与 6月12日「菅平の植生変化の学習会」を1回開催。参加者数55人
重点目標	地域内分権確立に向けての住民自治組織設立の検討		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治組織づくりの検討・推進 地域づくり委員会の機能強化 自治センターだよりによる地域内分権等に関する情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会・真田地域自治会連絡会議での協議 11月までに地域づくり委員長選出依頼 年度内 隔月6回発行 	<ul style="list-style-type: none"> 4自治センターでのモデル地区進捗状況の情報交換実施 6月20日自治連役員会での考え方の説明、地域協議会での協議日程調整 モデル地区での進捗状況を参考に、地域協議会で年度内に、自治会連絡会議で2月に説明・協議を開始予定 本年度4自治会で地域づくり委員長選出 未選出自治会に11月21日自治会連絡会議で選出依頼予定 5月、7月、9月に地域協議会、地域情報の発信
重点目標	災害時要援護者登録制度の普及、推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
5	<ul style="list-style-type: none"> 制度未導入自治会に対する説明会 実効性を高めるため、防災訓練等自治会での活用に向けた働きかけ 更新作業を通じ未登録者へ働きかけ 関係機関の連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 3自治会 自治会長対象の説明会実施 6月～10月 制度推進打合せ、研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 3自治会で説明会・打合せを実施し、3自治会で制度導入を決定 5月22日 自主防災組織リーダー研修会実施 本制度を活用した防災訓練を5自治会で実施 7月から更新作業を通じ、未登録者への働きかけを実施 民生児童委員協議会で推進打合せ3回実施

市長指示事項
 ・真田御屋敷公園等真田氏関連観光地の観光客受け入れについては、センターとして対応できるよう体制を整えること。
 ・菅平の課題については、具体的に行動に移し実現に向け計画的に進めること。
 ・地域内分権の確立については、着実に進めること。
 ・真田氏とゆかりのある自治体との連携を一層進め、観光施策の充実を図ること。